

明治期に建設された「男木島灯台」を一般公開

平素から海上保安業務に関しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、高松海上保安部では、一般市民の方々に海上保安業務への理解を深めていただくため、男木島水仙ウォークにあわせ、日本の灯台 50 選の一つである「男木島灯台」の内部を公開します。

1. 日時

平成 27 年 2 月 8 日 (日) (雨天中止)
午前 10 時から午後 3 時までの間

2. 場所

男木島灯台 (香川県高松市男木島)
高松港 ~ 男木港 (定期船) 約 40 分
男木港 ~ 男木島灯台 (徒歩) 約 30 分

3. 行事内容

灯台内部及び資料館の公開

4. 男木島灯台の概要

男木島灯台は、香川県では 2 番目に古い明治 28 年 (1895 年) 12 月 10 日に初点灯して以来、119 年間もの長きに亘り瀬戸内海の海上交通の安全を見守り続けています。

また、灯台守とその家族を描いた映画「喜びも悲しみも幾歳月」の舞台の一つにもなり、灯台に隣接する無人化後の灯台職員宿舎は、現在資料館として公開されています。

安全上、踊り場は公開しませんが、日本に 2 基しか無い外壁が無塗装の灯塔 (材料は地元産の総御影石 (庵治石)) や、建設当時の状態を残す木目仕上塗りが施された内部壁板、および綺麗に加工されている螺旋階段などを見学することができます。



注意 : 大規模海難等の緊急事案発生、悪天候等により中止することがあります。
なお、中止の場合は高松海上保安部のホームページにその旨を掲載します。
アドレス : <http://www.kaiho.mlit.go.jp/06kanku/takamatsu/>